

『脳血管内治療全体における脳塞栓症リスク因子の検討』

のための医療データ提供のお願い

脳神経外科領域において、血管内治療は血管病変のみではなく、脳腫瘍に対する栄養血管塞栓など様々な領域で普及しつつあります。血管内治療において、最も多い合併症は血栓塞栓症であり合併症率の低減が課題です。脳血管内治療において治療分野ごとに血栓塞栓症のリスク因子は異なることが明らかとなっており、脳血管内治療全体でのリスク因子は明らかとはなっていません。そこで今回我々は、脳神経血管内治療全体における脳塞栓症のリスク因子を後方視的に検討します。

この研究のために 2016 年 3 月から 2016 年 12 月までに施行された脳血管内治療のうち、詳細なデータ収集が可能であった 18 例を対象とします。術前の年齢、性別、BMI、脂質異常症などの既往歴、総コレステロール値や LDH および炎症反応などの血液検査データ、ABI/baPWV や MRI での脳血管の情報、血圧やサチュレーションモニターによる SpO2 や血管年齢、抗血小板薬などの内服状況を収集します。また、治療時に使用したテクニックやデバイスの種類、術後 MRI 拡散強調画像での脳塞栓の数、フォロー時の MRI 画像所見やデータなどを後方視的に収集して解析を行い、脳血管内治療における脳塞栓症のリスク因子を明らかにします。

病院スタッフは、医療従事者としての守秘義務が課せられており、患者様の個人情報には固く守られています。また、この研究で得られた情報を取りまとめる際、患者さん個人を特定できる情報（氏名・住所・電話番号等）は記載しません。同様に、医学雑誌等に発表する場合も個人が特定できないように配慮されます。

ご提供頂いた医療データは研究終了後、主任研究者が厳重に保管し、研究終了 5 年後に廃棄されます。

この研究への医療データ等の提供をご辞退される場合、また研究の内容についてより詳細な情報を希望される場合やご質問等がある場合には下記の担当医師までお申し出ください（2017 年 12 月末まで）。

医療データ等の提供をご辞退された場合は、連絡を受けた時点でご提供頂いた医療データは廃棄させていただきます。また、ご辞退されたことにより患者さんが治療上の不利益を受けることは一切ありません。

問い合わせ先

担当診療科 脳神経外科

担当医師 中村 元、村上 知義

電話番号 06-6879-5111